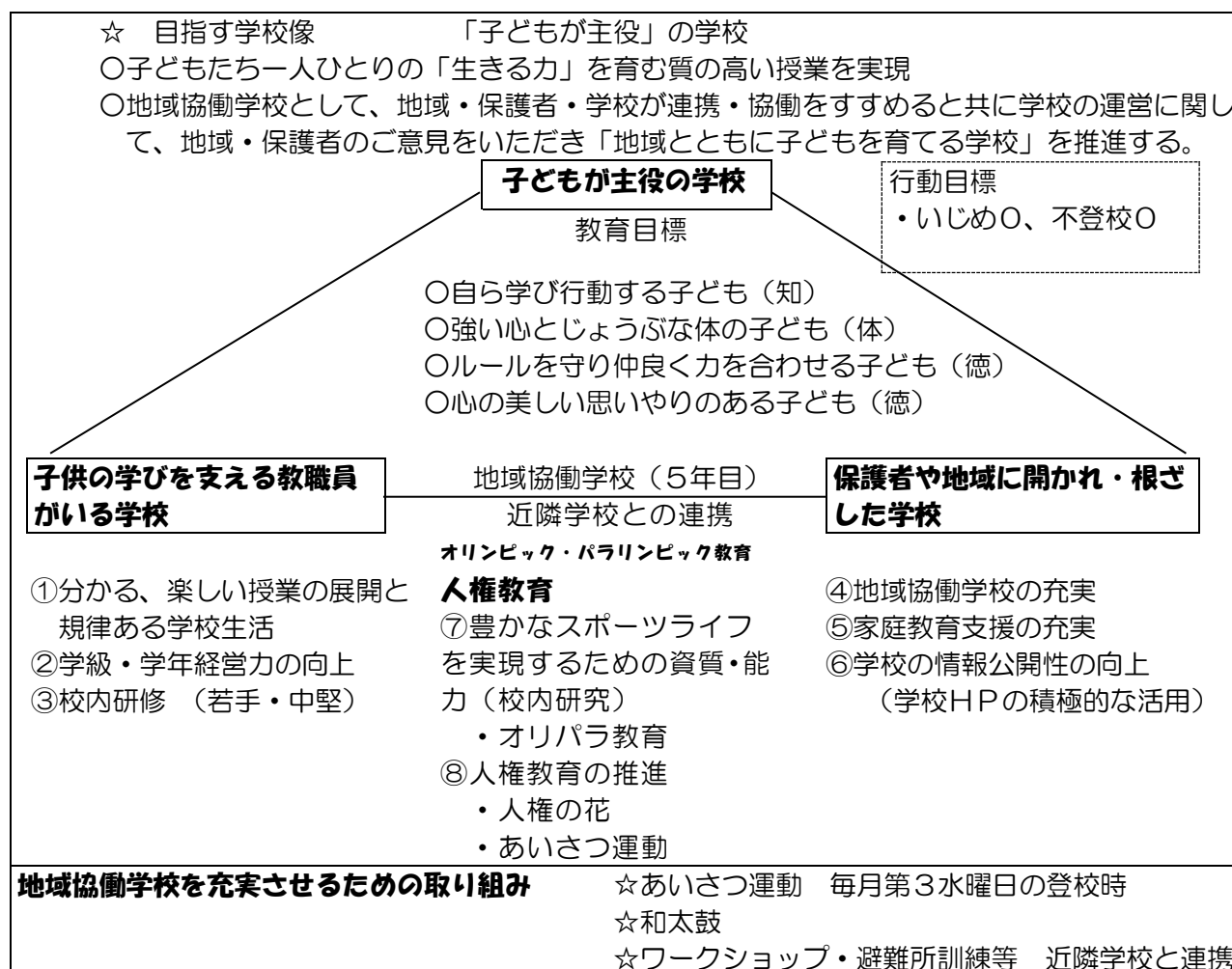


子どもにとって 「通ってよかった戸山小」
 保護者にとって 「通わせてよかった戸山小」
 地域にとって 「地域が誇れる戸山小」

1. 学校経営の目標



2. 学校の教育目標

- 自ら学び行動する子ども
自ら課題を持ち、創意・工夫を図り、粘り強くその解決にあたる子ども
- 強い心とじょうぶな体の子ども
何事にも根気強く取り組むとともに、心身ともに健康な子ども
- ルールを守り仲良く力を合わせる子ども
規範意識をもち、誰とでも協力することができる子ども
- 心の美しい思いやりのある子ども
他者の立場や考えを尊重し、素直な心をもって相手とかかわれる子ども

3. 経営の基本方針

「子どもが主役」の学校づくりを目指す。

そのためには、子どもと先生の信頼関係、保護者と先生（学校）の信頼関係、地域と学校の信頼関係、保護者と地域の信頼関係が必要である。そしてこの信頼関係を築くためには、学校（教師）・保護者・子ども・地域がそれぞれに責任を果たすことが大切である。それぞれが責任を果たし、互いの信頼関係が構築されることで、歴史ある戸山小学校で学び教えることへの誇りやこの地域で暮らすことへの誇りを

もてると考える。

今年度の新宿区立戸山小学校は、「地域とともに子どもを育てる学校」に取り組んでいく。

① 分かる、楽しい授業の展開

学校生活の中心は授業である。それが、楽しく、よく分かることによって、基礎・基本が身に付き、問題解決能力も高まる。また、望ましい習慣や態度が身に付き、考える力、行動する力も高まる。学習指導は、生活指導の基本でもある。主体的・対話的で深い学びの実現を図りながら子どもたちが生き生きと活躍する授業を進めていく。

今年度も、算数科において少人数学習を行う。1、2年生までは、2クラスを3つのクラスに分け、単元によっては習熟度別学習も取り入れた学習に取り組む。3年生以上は2クラスを3つのコースに分けての習熟度別学習を展開する。習熟度別学習では、レディネステストから自己の能力にあったコースを選択することで、自分の学力についての振り返る力を身に付けることができる。

目標「算数学習が楽しいと感児童が80%以上にする」（学期末に全児童にアンケート調査）

また、校内研究として、体育における体力の向上に向けた授業改善に取り組みながら、主体的・対話的・深い学びについて学び、各教科指導等に生かしていく。

目標「各学年講師を招いての研究授業1回を行う」

さらに、ICT機器の整備が進んでいる新宿区の特徴を生かし、ICTを活用した授業を計画的に推進する。

目標「児童がICT機器を活用した授業を2教科以上で行う」

② 学級・学年経営力の向上

各学年2学級の戸山小学校では、学年会で1週間の学習や行事の打ち合わせを行い、学年として統一した指導ができるようにしていく。

目標「週1回の学年会の完全実施」（週案簿での確認）

③ 教員の研修

年間を通して、若手教員研修、中堅教諭研修を行う

主任教諭・主幹教諭が中心となったOJTの推進

目標「全学級における授業公開を実施する。また毎月1回の若手教員研修と年3回の中堅教諭研修を行う」

④ 地域協働学校

新宿版コミュニティースクール「地域協働学校」として、地域の教育力を生かした学校教育を推進する。

・地域の町会や自治会の協力を得て、「あいさつ運動」を実施する。

・年間を通じての和太鼓の練習を地域の方々に依頼し、運動会や地域行事に子ども達が積極的に参加するようにする。

・近隣学校と連携し、**夏季休業中にワクワクスクール（ワークショップ）を行う。**

⑤ 家庭教育支援の充実

PTAと協働した、子育てのための家庭教育学級を実施する。

⑥ 学校の情報公開性の向上

学校HPの「戸山日記」と「給食のページ」を随時更新し、学校での子供たちの様子を保護者や地域に公開し、学校の信頼性を高めていく。

目標「毎日学校の様子を戸山日記と給食のページにUPする」

「学校だより」「学校協議会だより」の随時掲載を行う。

⑦ オリンピック・パラリンピック教育

オリンピック・パラリンピック教育の全体計画をもとに、5つの資質を育む取り組みを推進する。

目標「授業参観日において、オリンピック・パラリンピックの取り組みを公開する」

⑧ 人権教育・あいさつの運動の推進

学校のすべての教育活動を通じて、人権教育に取り組み、いじめのない学校づくりに努める。

また、あいさつ運動を通じて、さわやかなあいさつができる子どもたちに育てていく。

目標「人権教育に関する授業観察を年1回行う」「あいさつ運動を月1回実施する」